

カヤラン ラン科

Thrixspermum japonicum (Miq.) Rchb.f.

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：—



鳥取市 2010.5.7/撮影：坂田成孝

■**選定理由**：県内では局所的に生育するのみ。着生する樹木は減少傾向で絶滅の危険性が非常に高い。

■**特徴**：茎は長さ5 cm，葉は互生，披針形で長さ約3 cm，暗緑色。花期は5月，色は短黄色。果実は円柱形で長さ約5 cm。鳥取市佐治町では溪流沿いの岩尾根に生育するヤマグルマの樹幹に着生している。鳥取市では溪流沿いの平地に生育するカスミザクラの樹幹，およびアカメヤナギの老木の横に広がった枝に着生しているが，一部が最近見られなくなった。

■**分布** 県内：鳥取市・佐治町。県外：本州，四国，九州。

■**保護上の留意点**：自然林の保護。着生している樹木，および周囲の樹木の保護。採取防止。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：—

執筆者：西尾幸弘